

増える 企業組合

「スタツフ参画、やりがい」

「企業組合」の設立総数が本年度末までに県内で五十件を超えそうだ。中小企業などの組合設立を支援する県中小企業団中央会は「近年は設立組合の半数を企業組合が占める傾向が続ぎ、九州では福岡と並びトップ。本腰で事業を展開する組合が増えている」と特徴

を説明する。別府市で旅行代理店「トラベルネット」を運営するのは企業組合オフイスK（栗屋しのぶ代表）に四人で設立した。現在の組合員（出資者）は十人。出資金も当初の五百六十万円から九百八

十万人に。企業組合の中で、出資金は比較的多い。創業当初は赤字計上や組合員の脱退など試行錯誤が続いたが、徐々に固定客も増え、経営は軌道に乗ってきた。全国中小企業団体中央会の補助対象にも決定。旅行会社勤務を経て創業にこぎ着けた栗屋代表

は、企業組合を選んだ理由を「働く仲間が、ともにやりがいや経営者意識を持てる仕組みが良かった」と説明。「経営や資金調達などを向ても気軽に相談できる窓口があるのも心強い」と、中央会を頼りにする。



企業組合オフィスKの栗屋しのぶ代表＝旅行代理店「トラベルネット」（別府市）で

県内の政治・経済



「スタッフ参画、やりがい」

「企業組合」の設立経緯を説明する。

「中で、出資金は比較的」は、企業組合を選んだ理